

ごてんば社協だより

ひだまり

赤い羽根共同募金が始まります

運動期間
10月1日(水)
▼
12月31日(水)

やさしさ  ひろげて



パルちゃん
©S-PULSE



ジュビロくん
©JUBILO IWATA

清水エスパルスとジュビロ磐田は、赤い羽根共同募金を応援します。

この町を良くするために、困っている人たちを支えるために、今年もまた赤い羽根共同募金活動に、地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

また、募金の3%は災害時のボランティア活動のための準備金として積み立てられており、もしもこの町で大きな災害があったときには、全国から応援が届く仕組みです。

共同募金は、御寄附いただいた市町村で行われる福祉活動に役立てられるほか、市町村の中で解決できない課題などについては、その一部が都道府県内の活動に役立てられます。

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障害のある人、子供たちなどに対する様々な地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ」です。

今年も赤い羽根の季節がやってまいりました

<http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/>

赤い羽根 静岡

検索



赤い羽根 静岡 希望くん ©中央共同募金会

昨年お寄せいただいた募金は、御殿場市の地域福祉の推進のために、次の事業に活用されています。

社協 高齢者のために	1,575,000円
●高齢者ささえあい見守り啓発事業 ●市老連地域ふれあい事業 ●生活支援等サービス開発	
社協 障害のある方のために	2,109,449円
●障害者ささえあい見守り啓発事業 ●障害者週間等啓発事業 ●ボランティア活動事業(ボランティア連絡協議会) ●災害時支援ボランティア研修会事業 ●社会福祉法人連携事業	
社協 子供たちのために	1,985,000円
●子ども食堂ささえあい見守り啓発事業 ●市子連地域ふれあい事業 ●児童遊具整備事業 ●中卒就職生激励事業 ●準要保護家庭児童小学校入学祝金支給事業 ●準要保護家庭児童中学校入学祝金支給事業	
社協 課題を抱える人たちのために	90,000円
●生活困窮者特別支援金給付事業	
子ども食堂 ふじのくに夏休み子ども食堂支援セット	75,409円
福祉施設 備品寄贈	53,200円
就労移行支援事業所 新年を施設で生活される方への支援	72,000円

募金方法

戸別募金

市内全世帯を対象に、区長さんを通じて協力をお願いしています。

職域募金

職場内での募金活動により従業員の皆様に協力をお願いしています。

学校募金

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童会、生徒会を通じ、福祉教育の機会として協力をお願いしています。

大口募金

民生委員さんの訪問により市内の企業、商店、篤志家の皆様に協力をお願いしています。

街頭募金

10月1日(水)午前中を中心に、スーパーマーケット等の店頭で募金活動の啓発に努めます。



下のイラストには**10か所のマチガイ**があります。

左と異なる**右のイラスト10か所**に○印を付け、切り取って官製葉書に貼り付け、お名前、住所、職業、共同募金や社協への御意見を添えて、**10月17日(金)まで**に市社協へお送り下さい。**抽選で20名様**に素敵な景品を差し上げます。

■宛先 〒412-0042 御殿場市萩原988-1 市民交流センター「ふじざくら」内
御殿場市社会福祉協議会 「赤い羽根クイズ」係



市社協は、成年後見事業を推進しています。

8/14^(木) 150人分のカレー作りに挑戦!!

夏休み小学生福祉体験開催



毎年恒例の「夏休みカレー作りボランティア体験」今回も市内の小学生から6年生総勢20人が、市社協で毎月実施している「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会」の調理ボランティアとして参加し、150人分のカレー作りに挑戦しました。

高年齢者60人と一緒に楽しく会食し、食後には県立小山高校吹奏楽部による迫力ある演奏を聴き、貴重な体験をすることができました。

参加した児童からは、「おじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらえて良かった」、「みんなで協力できたから楽しかった」、「来年もまた参加したい」等の感想が寄せられました。



8/5^(火) 8/6^(水) 中高生福祉体験

これからは食べ物を大事にしたい

市内の中高生が「子ども食堂」の活動体験をボランティアさんの指導の下行いました。また、御殿場・小山フードバンク協議会へ寄附された食料品を困窮世帯や子ども食堂へお届けするために仕分け作業を行いました。今年は41人の参加があり「当市では困窮している方々が、コロナ前の70世帯から1100世帯に増えている。1回のフードバンクに4ト必要で、1世帯当たり食料は約10kgと知り驚いた。この量を集めるのは大変なことで、今自分ができることは寄附なんだと思った」困っている人たちが笑顔になれると嬉しい「フードロス、貧困など様々な問題があることを知った」等感想が寄せられました。

次世代を担う中高生が、地域の困りごとに関心を持ち「福祉」を身近なものとして感じる大変良い機会となりました。



子ども食堂の体験をしました



じゃが芋をたくさん切りました



御寄附の品物を運びました



御寄附の品物ありがとうございます



運転ボランティア活動に関心のある市民の方限定!!

国土交通大臣認定

「福祉車両運転者講習」 受講者募集!!



移動支援の担い手の拡大、更に高齢者、障害のある方等を支える人の養成を図ります。
あなたも地域の中で「移動」に困っている方の外出を支援してみませんか?

日時 令和7年10月29日(水)・30日(木)
両日共 午前9時から午後4時まで

会場 市民交流センター「ふじざくら」ほか

対象者 運転ボランティア活動に関心のある市民

内容 福祉車両の特性
道路運送法、関係法令
高齢者の生活等
運転介助
リスクマネジメント等

受講料 無料

定員 15名

申込み多数の場合抽選となります。

講師 認定NPO法人

申込み かながわ福祉移動サービスネットワーク
10月16日(木)までに御連絡ください。

電話(70-6801)
FAX(89-5501)

その他

2日間全日程を修了された方には
国土交通大臣認定修了証を発行します。



24時間テレビ 街頭募金 ボランティア

右から、御殿場南高等学校 高根夢さん(3年)、佐藤つららさん(3年)、御殿場西高等学校 鈴木優菜さん(3年)、稲越美兎さん(3年)、山崎柚陽さん(3年)、田村佳蓮さん(3年)が協力してくれました。



フードドライブ強化月間

(8/1~8/31)

御協力ありがとうございました

回収ボックスを市民交流センター「ふじざくら」、市役所東館及び各支所に設置し、多くの皆様に御協力いただきました。
お陰様でおよそ385kgの食品が寄せられました。

皆様から頂いた食品は「NPO法人フードバンクふじのくに」に集約され、県内各地の行政・社会福祉協議会等を通じて、生活困窮等の理由により、食の支援を望む方や福祉施設に提供されます。

引き続き御家庭に眠っている食品を市社協では募集しています。

★賞味期限が2か月以上あるもの
★常温保存ができ、未開封のもの
★レトルト食品、缶詰、カップ麺
★即席そ汁・スープ・お菓子等



有償ボランティア募集

住民参加型生活支援事業「あったかサポート」 支援員養成講座開催

「住民参加型生活支援事業」は、サービスを利用する人も同じ住民同士です。ちょっとした困りごとを《みんなで助け合っ`ていこう》という趣旨の下、支援を行う有償のボランティア活動です。年々依頼件数が増加する一方、支援していたく支援員さんは不足しているのが現状です。一緒に地域の困りごとの解決に協力してくれる支援員さんを募集します。

日時 令和7年10月14日(火)
午前9時から12時まで

会場 市民交流センター「ふじざくら」

対象者 ボランティアアビュロー

内容 助け合い活動に関心のある市民
傾聴技法・現役支援員からの体験談等

受講料 無料

定員 20名(申込み多数の場合抽選となります。)

申込み 10月7日(火)までに御連絡ください。

申込み問合せ 市社協地域福祉課
電話(0550-70-6801)

有償のボランティア活動

支援内容 草取り・掃除・話し相手・ゴミ捨て等
活動時間 空いている時間にちよっとお手伝い
(15分~2時間)

報酬 1時間600円 15分150円

